

6 南和地域における「医療・介護」を巡る現状（まとめ）

- ・2025年に向けては、高齢者の人口も減少
- ・「医療費」では入院費の割合が高い
- ・「介護費」では施設系介護への支払が多く、在宅介護への支払は少ない

- 
- ・人口減により、地域包括ケアを支える家族や地域のコミュニティが維持できない
 - ・自宅での療養や介護が難しい
 - ・入院、施設入所の必要で村外に転出し、人口減少が加速する

企業団としてできること

- 自宅で療養生活を送れる「医療」の提供
- 地域における医療・福祉の連携



7 南奈良総合医療センターの概要

診療科(25)・センター(8)機能

内科系

内科
 総合内科
 循環器内科
 糖尿病内科
 呼吸器内科
 内分泌代謝内科
 消化器内科
 感染症内科
 神経内科
 小児科
 精神科(外来のみ)

外科系

外科(消化器・総合)
 脳神経外科
 整形外科
 救急科
 皮膚科
 泌尿器科
 眼科
 耳鼻咽喉科
 産婦人科
 リハビリテーション科
 歯科口腔外科

その他

麻酔科
 放射線科
 病理診断科

病床数

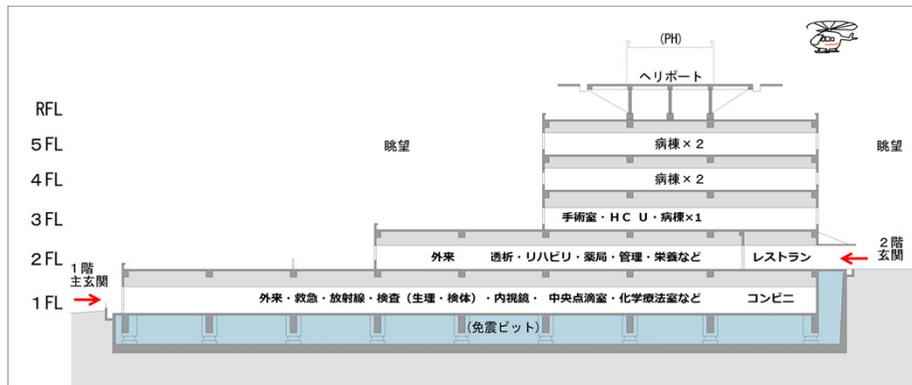
HCU: 8床
 一般: 188床
 回復期: 36床

センター機能

救急センター
 消化器病センター
 リウマチ・運動器疾患センター
 糖尿病センター
 腎・尿路疾患センター
 在宅医療支援センター
 へき地医療支援センター
 健診センター

主な施設基準

一般病棟看護基準(10対1)
 救急告示病院(二次救急)
 第二種感染症指定病院
 地域災害拠点病院
 へき地医療拠点病院
 手術室(4室)
 外来化学療法室(5床)
 人工透析室



南奈良総合医療センター等整備概要

工事期間	平成26年4月～平成28年3月		
敷地面積	46,759.31m ²		
建物概要	救急病院本館棟	鉄筋コンクリート造、免震構造、地上5階	21,778.19m ²
	看護専門学校	鉄筋コンクリート造、地上3階	2,090.09m ²
	体育館	鉄筋コンクリート造、地上1階	823.13m ²
	院内保育所	鉄骨造、地上1階	158.52m ²
	附属建物(車庫、駐輪場等)		1,277.07m ²
ヘリポート	屋上設置		
駐車場	約600台(敷地外駐車場を含む)		



8 在宅医療支援センター

- 住み慣れた自宅で自分らしく療養生活を送れるようサポート
- 自立した生活を支援するため、地域における医療・福祉と連携
- みなさまを継続的、包括的に支援する体制の発展に貢献

<対象となる方>

- ・病気や障がい等のため、自宅での療養を必要とされる方
- ・がんの末期や褥瘡(じょくそう)、持続点滴や在宅酸素療法など医療的な処置が必要な方
- ・寝たきりやそれに準じた状態で、通院や薬の管理が難しい方

<サービス概要>

対象地域 原則、南奈良総合医療センターから片道16キロ(車で約30分以内)圏内の地域

提供時間 平日の9時から16時30分

※夜間、休日の急変時は、地域の訪問看護師と連携をとり対応



吉野病院の在宅医療支援室でも、サービスを提供しています。
(訪問診療は月・水・金、訪問看護は月～金)



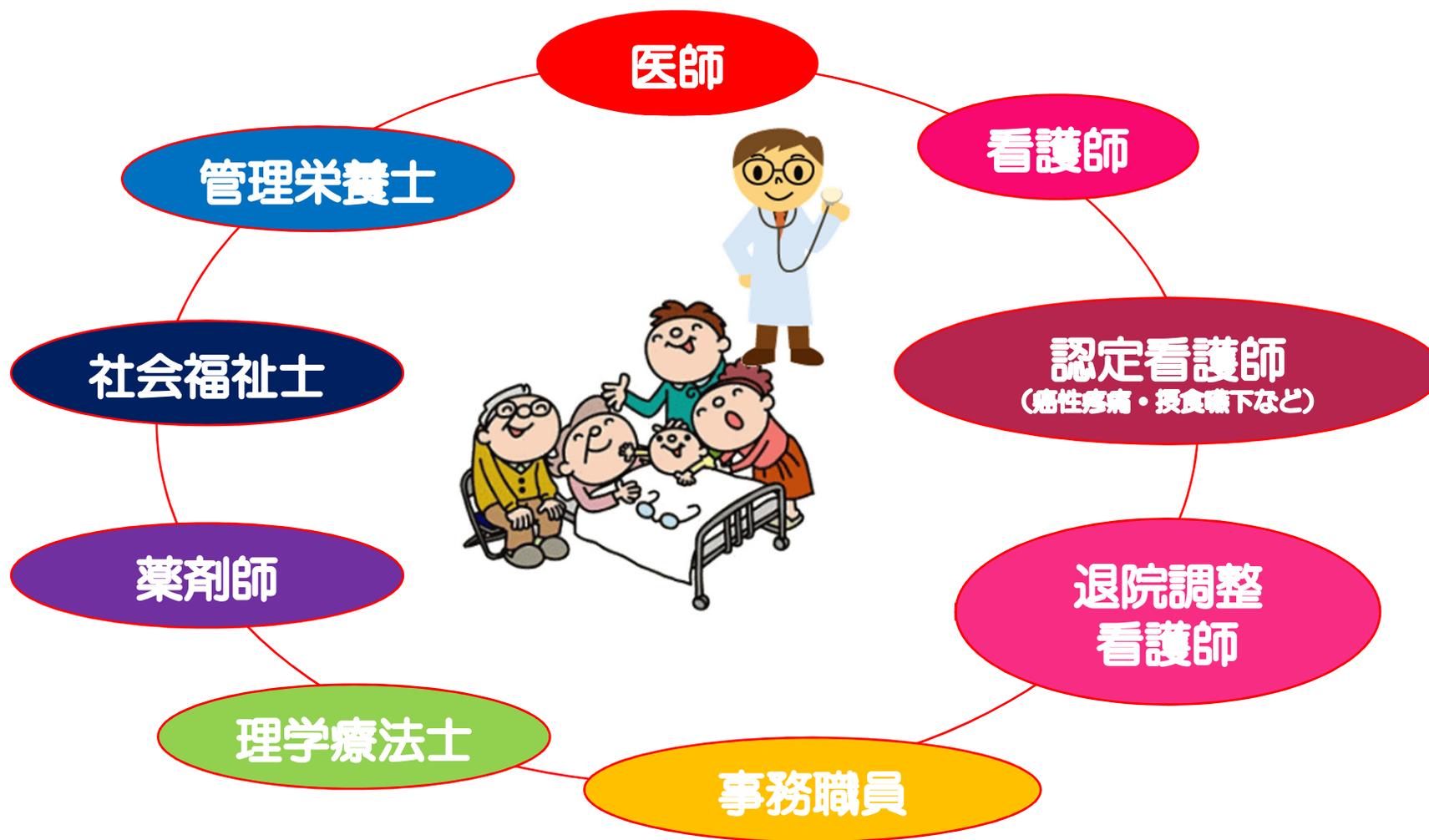
【センターの事業内容と特徴】

- ・在宅医療を継続的に提供できるよう、**複数の医師・看護師・メディカルスタッフからなるチームで活動**
- ・医師は総合内科のスタッフを中心に構成。原則として、利用者様ひとりひとりに定期訪問を行う担当医が決まりますが、担当医が不在の時間帯でも別の医師による切れ目ない対応
- ・看護師は在宅医療支援センターの専任看護師として、みなさまのご自宅へ訪問。また、医師の訪問診療にも同行し、チームで診療。
- ・南奈良総合医療センターのメディカルスタッフも充実しており、在宅にいながら様々なサービスを受けられる。
- ・**院内外の連携に通信機器を用いて情報共有。**
- ・症状の急変時には地域の訪問看護師等と協力し、利用者様の状態に応じて医師の緊急往診や専門医療機関への緊急搬送などを手配。
- ・さまざまな事情に応じて在宅療養支援目的を含めた入院の手配も行う。
- ・在宅での看取りを希望される利用者様には、住み慣れたご自宅で最期まで穏やかにすごしていただけるようにサポート。

【在宅医療で可能な医療処置の一例】

症状観察、終末期医療、点滴投与、疼痛管理、在宅酸素療法、褥瘡管理、簡易人工呼吸器管理、ストマの管理や指導、認定看護師への相談や看護・指導(がん性疼痛／摂食嚥下障害／皮膚・排泄ケア／認知症など)、嚥下評価、理学療法士によるリハビリ相談、薬剤師による服薬相談、管理栄養士による食事や栄養に関する相談、医療ソーシャルワーカーによる社会福祉の制度に関する相談 etc。

チームで活動：在宅医療支援センターの構成メンバー





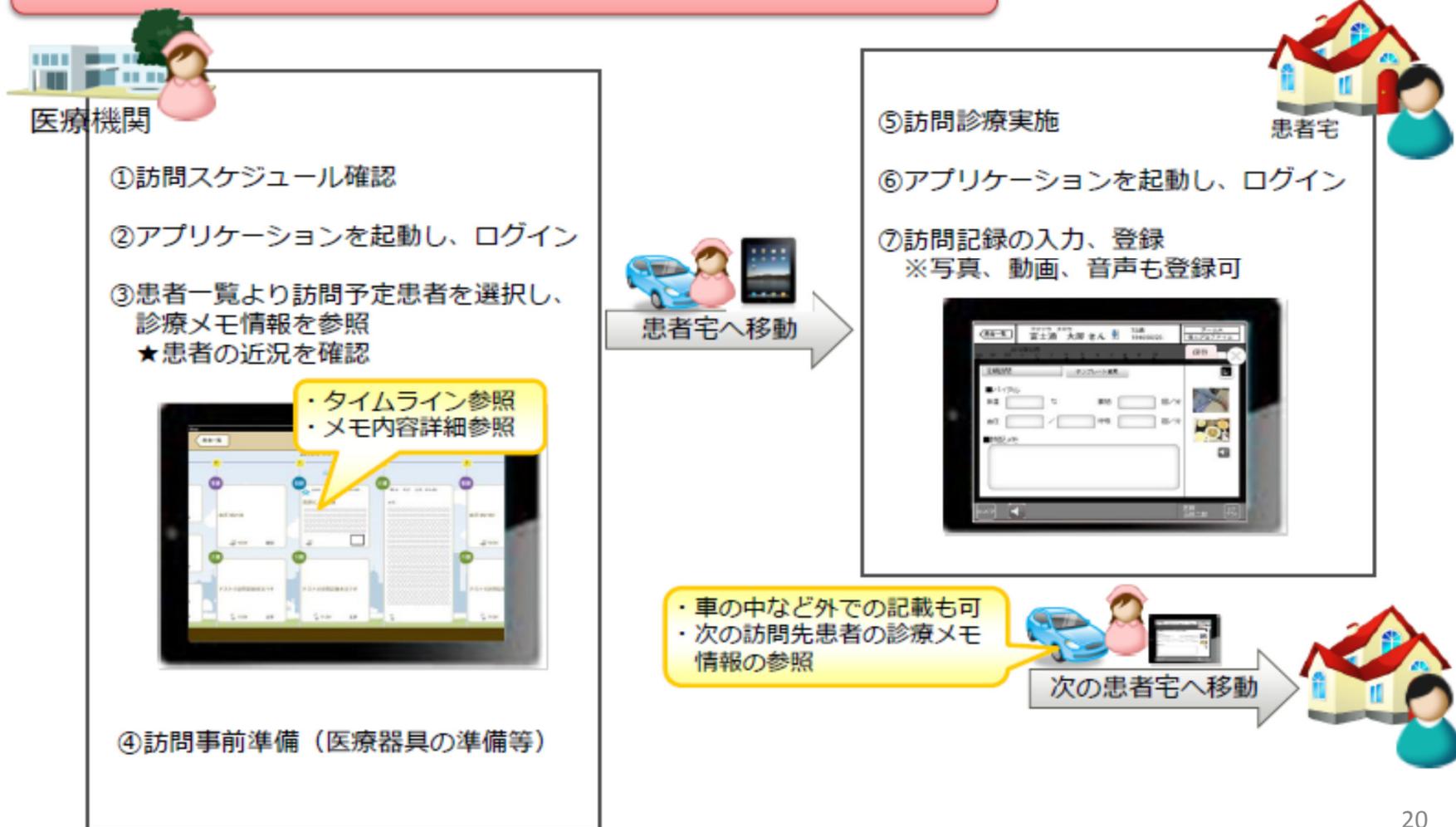
9 「訪問診療・訪問看護」の実績

	南奈良総合医療センター (平成28年4月～10月)	吉野病院 (平成28年4月～10月)
訪問診療患者数	月平均 19.9人	月平均 16.1人
訪問診療回数	月平均 33.1回	月平均 19.4回
訪問看護患者数	月平均 1.9人	月平均 5.3人
訪問看護回数	月平均 12.6回	月平均 36.1回
看取り数	10人	1人

10 ICT技術の活用

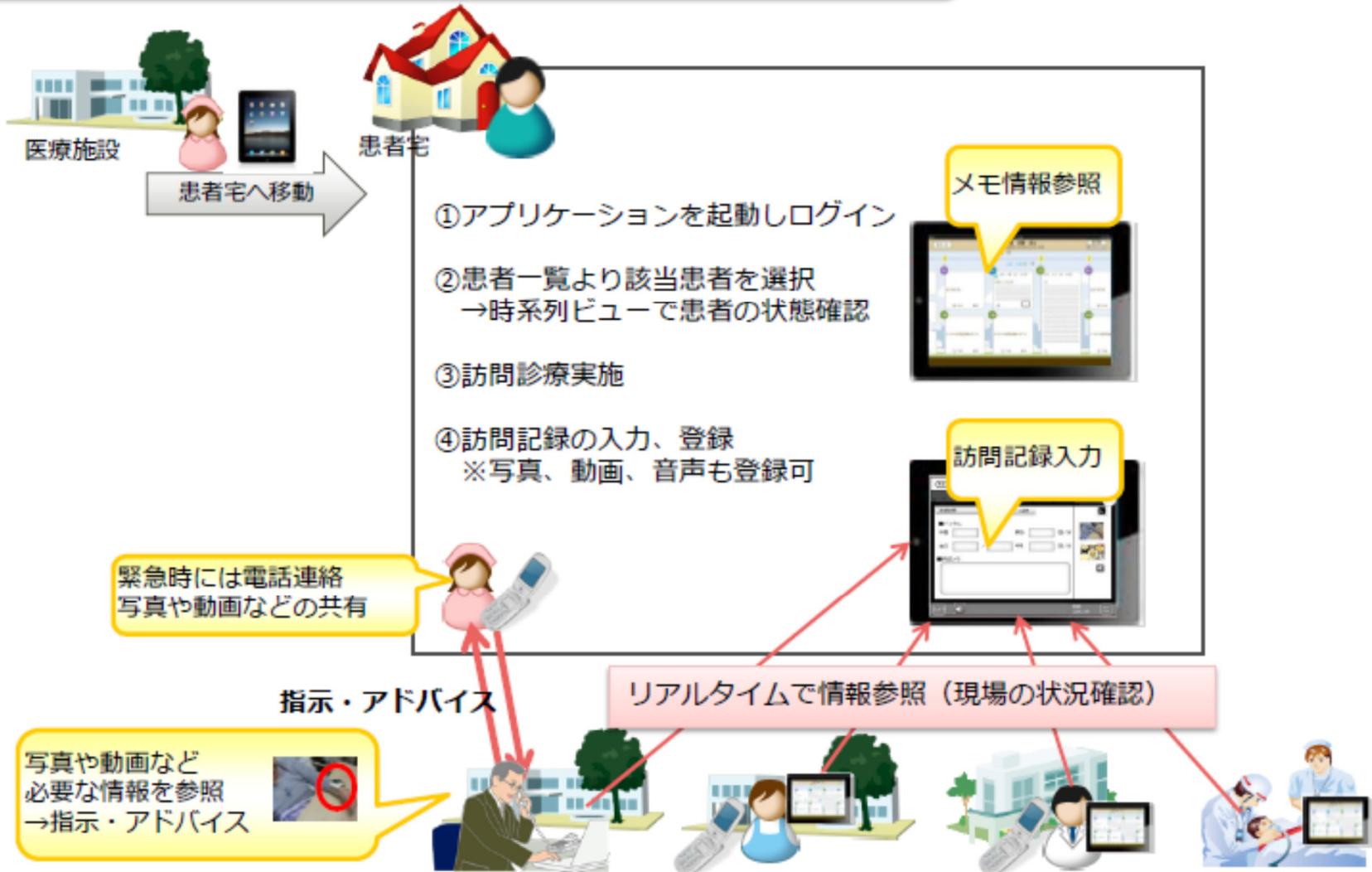
FUJITSU HumanBridgeEHR

訪問先患者の診療メモ内容を事前にタイムラインで参照





訪問先にて、患者の近況確認、訪問記録を入力





HumanBridge EHRから訪問記録の参照、患者メモ入力



モバイル端末にて情報参照

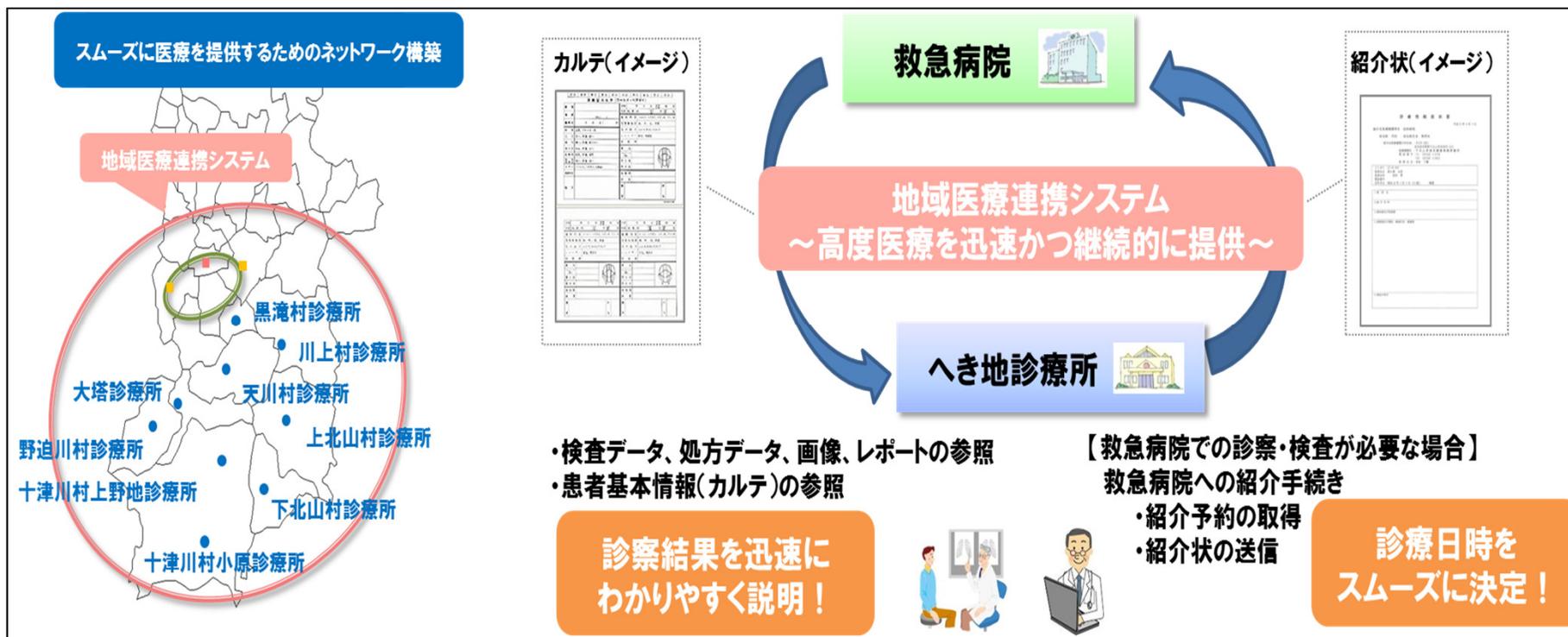


HumanBridge EHRシステムから登録されたメモ内容は、モバイル端末にて参照可能です。

薬剤師

1 1 地域の診療所とのネットワーク

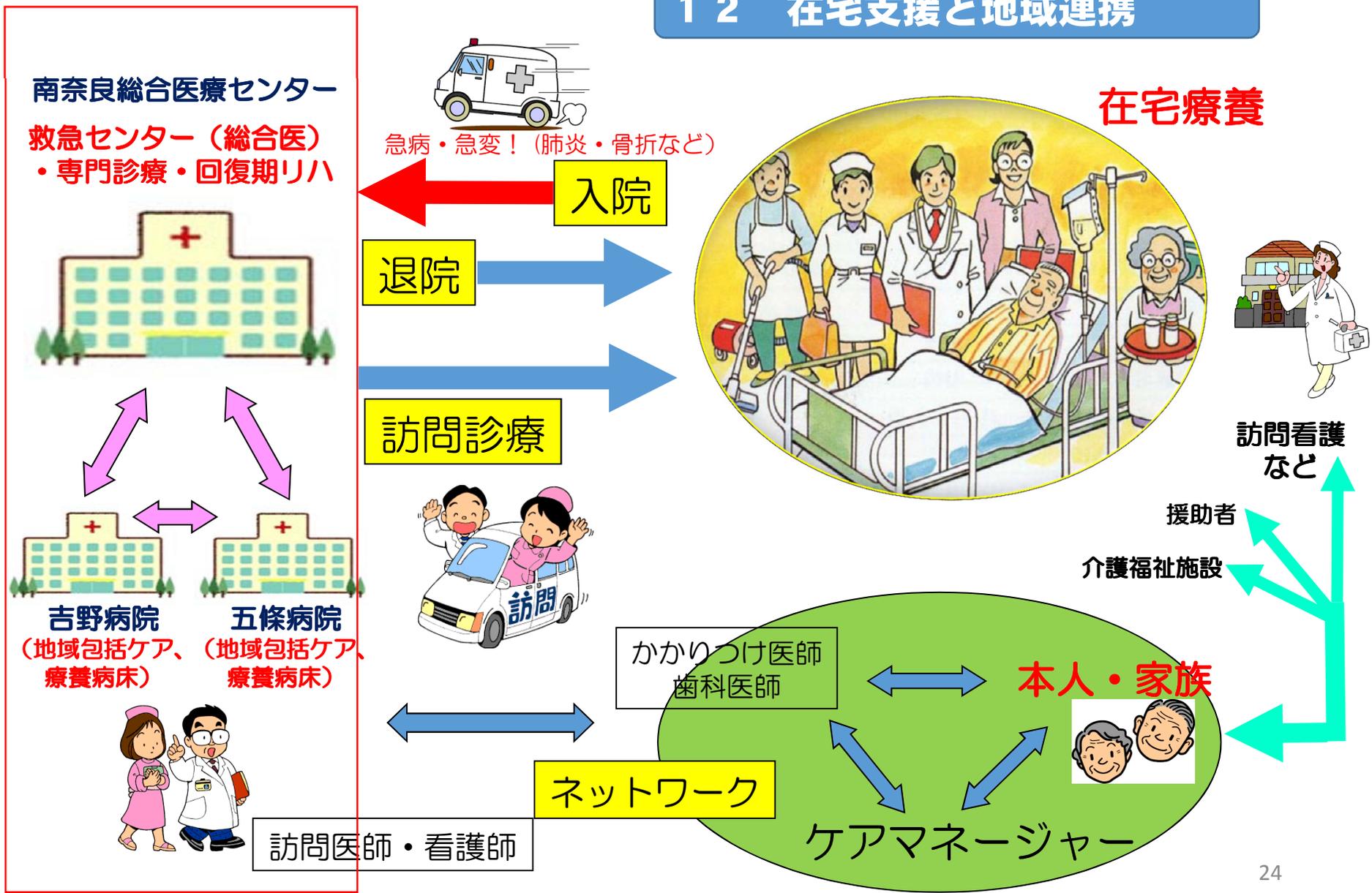
へき地診療所との情報ネットワーク



南和地域内の診療所とのネットワーク



1 2 在宅支援と地域連携



まごころをこめて

良質で最適な医療を提供します。

— 笑顔と感謝にあふれる病院をめざす —



南和広域医療企業団

Nanwa Regional Medical Organization